

的を失ひ、漸くにして催し得たる演説會の如きも、僅々數十名の聴衆を見たるのみにて、忽々引揚ぐるの止むなきに到れり

他方大阪に於ては、天王寺、堺、大浜、両公會堂に於て、相次いで演説會（十一日、十四日）を催し、會社糾弾の氣勢を揚ぐるに共に、夜々頻々たるデモを行ひ、殊に毎土曜日には、常に多数組合員を動員し、屢々警官と小競合（四日、六日、十三日）を演じつゝ、ありしが、遂に六月廿日に到り、隔々島屋、西九條、兩青年會館及び大阪労働學校に於て、大衆党主催の演説會催さる、也、警察側の虚に乗じ、大衆朝日橋方面に向はんとしたる組合員約四百名は、固らずも警官隊と衝突し、追はれて、争議團本部に入り、強いて暴行者を匿して、警官をけんげ、端なくも道を距て、警官隊と相對峙することとなり、互に負傷者を出し、物情騒然たるに到れり

斯くて兩々相對峙する事二日、近來稀に觀るの無謀なる「籠城」を行ひ、

世人の耳目を惹きしが、廿三日に到り、組合側が自發的に約三十名の犠牲者を引渡すことを肯人じたるを以て、警察側も亦圍を解き、漸く静謐に復することを得たり

斯くして本來の軌道を外れ、徒に組合の關心に駆られたる争議團は、遂に外圍事件を惹起し、流血の慘を呈し、茲に紛争場裡一沫の陰影を投ずるに到れり